

本日の流れ

1. 施設のポイント説明

2. グループワーク

議論の対象施設分類 「会館等」

施設の詳細説明（施設カルテ）

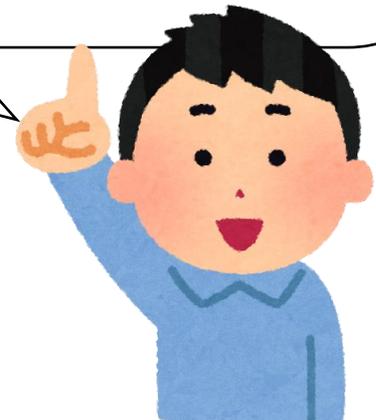
施設カルテをもとに特に抑えておきたいポイントを説明

佐渡市公共施設カルテ

[1] 基礎情報																	
管理No	576	施設名称	赤泊総合文化会館			所管課	社会教育課										
地区	赤泊	所在地(住所)	赤泊2458番地			管理課											
						指定緊急避難場所	<input type="checkbox"/>										
						指定避難場所	<input type="checkbox"/>										
						地区避難場所	<input type="checkbox"/>										
						設置年月日	平成1年11月30日										
施設類型	会館等		財産分類(小)		会館等												
設置根拠	佐渡市赤泊総合文化会館条例(平成16年3月1日条例第136号)																
設置目的	市の社会教育の充実、離島文化の向上及び保存保護並びに産業の振興、地域の活性化等を図る総合的な施設として、総合文化会館を設置し館内に郷土資料館を併設する。																
主たる建物	赤泊総合文化会館				配置形態	複合		総延床面積	3,260.31 m ²		棟数						
敷地面積	2,000.00 m ²		借地面積	0.00 m ²		借地料	円		借地解消予定年度	年度							
運営形態	直接運営		委託団体名				委託期間										
地上階	4		地下階	0		構造	鉄筋コンクリート		用途	公民館		耐用年数	50		経過年数	3	
[2] 収支・利用者数の状況																	
支出平均 3年平均(H30~R2年度)			収入平均 3年平均(H30~R2年度)			利益率(収入÷支出) 3年平均(H30~R2年度)			3年平均(H30~R2年度) 利用者数/延床面積			年度利用者数合計 3年平均(H30~R2年度)					
123,456.0 千円			123.0 千円			1.2%			1.234 人/m ²			1,234.5 人					
[3] 利用実態																	
利用対象者	一般市民						開館時間	8時30分~22時									
特定利用団体							休館日										
利用二一ズ							利用レベル	一般市民利用									
今後の利用見込み等	利用者は横ばい状態であるが継続的に利用されている。																
利用圏域	両津	相川	佐和田	金井	新穂	畑野	真野	小木	羽茂	赤泊	市外						
	0.7%	0.0%	5.1%	10.2%	0.0%	0.0%	1.7%	0.7%	1.4%	78.5%	1.7%						
施設の状態等	赤泊行政SC、赤泊図書室との複合施設																
所管課のコメント																	

- ・ 施設の写真
- ・ 施設の設置目的
- ・ 施設の古さ、耐用年数
- ・ 収支・利用者数の状況
- ・ 利用実態
- ・ 施設の状態

検討するために必要な施設の情報が載ってます！



議論の内容（グループワーク）

③

3班に分かれて**3つの議論**を行います

I. 施設の選別（20分）

維持する施設、検討が必要な施設の区分け

II. 30%削減プランで生じうる課題（20分）

III. 課題を克服するための改善策（20分）



会館等

【管理に関する基本的な考え方】

会館等については、各施設の整備内容や稼働率、今後の利用見通しや地域の公平性を考慮し、最適となるよう施設の再編を進めます。

No.	施設名	所在地	政策優先度	定量的評価 (施設一次評価)	建築年	延床面積	対象利用者の範囲区分	(H30～R2年度)			方策パターン							
								収入平均 3年平均 (千円)	支出平均 3年平均 (千円)	年度利用者 数合計3年 平均(人)	集約化	複合化	転用	施設規模 の縮小 (減築)	民間施設 の活用	実施主体・管理 運営主体 の変更	非	
1	佐渡島開発総合センター	両津	—	C	1984	2,314	全域 広域	0	0	0	○※1、 △	○※1、 △	○					
2	あいかわ開発総合センター	相川	高	C	1983	2,069	全域 広域	477	8,111	14,017	○※1、 △	○※1、 △	○	○※1	○	○		
3	相川自然休養村管理センター	相川	高	C	1977	1,100	地域 地区	0	0	667	△※1							
4	佐渡中央文化会館 (アミューズメント佐渡)	佐和田	高	—	1994	5,784	全域 広域	9,656	337,481	45,989					○	○	○、個	
5	大佐渡交流活性化センター	佐和田	—	C	2003	446	地域 地区	268	4,608	0	○※1、 △	○※1、 △	○	○※1			○	

方策パターンとは

各施設の今後の方向性をコンサルが調査結果により導き出したもの

※ 総、個
…佐渡市の公共施設等総合管理計画や個別施設計画での考え

総延床面積	29,644	
着色延床面積	10,197	34.4%



公共施設等総合管理計画の施設面積30%削減目標を考慮し区分け

白

黒
(グレー)

維持していく施設、他の機能を受け入れる施設

廃止や譲渡、集約化・複合化、転用などを検討する施設

(注) 施設の区分けは、政策優先度「高以外」、定量的評価「C」を黒(グレー)へ振り分け

政策優先度とは

施設管理課による評価

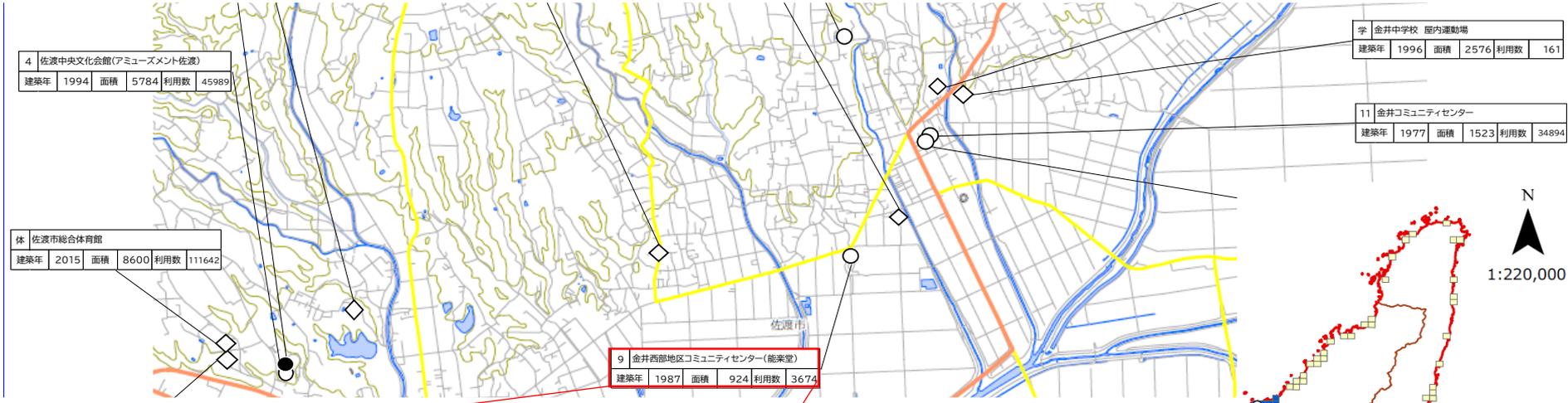
- ・ニーズ(公共サービスとしての必要性)
- ・利用状況、目的、圏域など

定量的評価とは

コンサル調査による施設劣化度と収支面の費用対効果からなされた評価

		総合劣化度評価	
		劣	優
費用対効果評価	優	B1 改善	A 維持
	劣	C 改廃	B2

各施設の位置情報 (会館のほか、他分類の施設も議論の参考に表示)



N
1:220,000

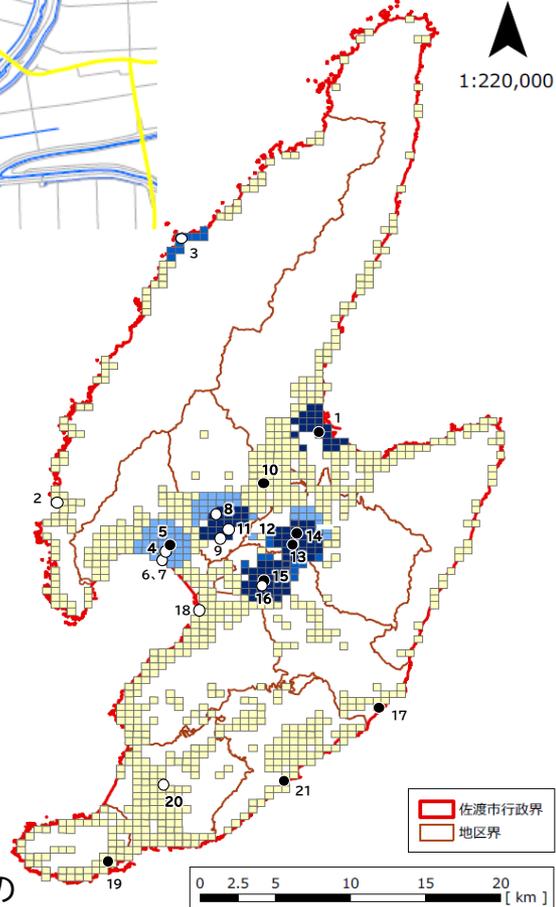
会館の番号 他分類の種類	施設の名称					
●	建築年	建築した年	面積	延床面積	利用数	過去3年 (H30~R2) 平均利用数/年

表記凡例

- 会館施設 黒(グレー)
- 会館施設 白
- ◇ 他分類の施設



2050年推計人口より、500mメッシュ毎に会館等における公共サービス過不足を示したものの



I. 施設の選別

第3回公共施設あり方検討会議

白		黒	
維持していく施設、 他の機能を受け入れる施設		廃止や譲渡、集約化・複合化、転用 などを検討する施設	
施設No. 2	B会館 延床面積 2,000 m ²	施設No. 1	Aセンター 延床面積 1,234 m ²
施設No. 3	Cセンター 延床面積 800 m ²	施設No. 4	D会館 延床面積 1,200 m ²
		施設No. 5	E会館 延床面積 2,500 m ²

会館の必要性を検討し、白・黒の
入れ替えなどを行う

この地域には他に
ホールが無いので、
「Aセンター」は
必要でないか。

改善点

収支や利用状況から
「D会館」は廃止、
若しくは集約化
すべきではないか。

Ⅱ. 30%削減プランで生じうる課題

⑦

第3回公共施設あり方検討会議

(A班)

白：維持する施設
黒：検討する施設
に区分けしたことによる課題を
付箋に書き足し、議論します。



課題

30%削減プランで生じうる課題

D会館の
調理室が
無くなる
と困る

〇〇地区は
最寄りの会議
施設までの距
離が遠い

黒

廃止や議
などを検

施設No. 5 **E会館**
延床面積 2,500 m²

施設No. 4 **D会館**
延床面積 1,200 m²

改善点

課題を克服するための改善策

Ⅲ. 課題を克服するための改善策

第3回公共施設あり方検討会議

(A 班)

白 維持していく施設、
他の機能を受け入れる施設

課題に対して、克服するための改善策を検討し、付箋に書き足します。

黒 廃止や譲渡、修繕、転用などを検討する施設



D会館

延床面積 1,200 m²

施設No.
5

延床面積 2,500 m²

課題

30%削減プランで生じうる課題

D会館の調理室が無くなる
と困る

〇〇地区は最寄りの会議施設までの距離が遠い

改善点

課題を克服するための改善策

Aセンターの調理室を使うものとし移動手段の整備を行う

〇〇学校の施設を活用する



A班



C班

各班の検討結果を共有



情報を統合、
さらなる掘り下げ
議論をまとめる！